

【4月1日をApril Dreamに】 企業・個人の“夢”と“夢の続き”を募集開始。 Forbes JAPAN がメディアパートナーとして参画

April Dream

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）は、2022年2月22日(火)より、4月1日に“夢”を語る「April Dream（エイプリルドリーム）」プロジェクト参加企業の募集と、叶えている途中の“夢の続き”を語る新企画「Made in April Dream（メイドインエイプリルドリーム）」参加企業の募集を開始いたします。

また、個人の方に向けて「夢を語るあなたが駅貼りポスターに。Dream ステーション」企画の参加を呼び掛け（2022年2月3日に発表し、既に募集締め切り済み）、新宿駅で300名の夢の掲示に向けて進めていますが、他にも夢をお持ちの方が4月1日に #AprilDream で夢を SNS など発信いただけるよう、2022年バージョンの April Dream 特設サイトを3月10日以降に公開予定です。

私たちは「夢が、世界を変える」と信じ、4月1日を April Dream の日にすることを目指しています。この日だけは、普段はためらうような夢を、大胆に言ってみる。自分に、大切な誰かに、約束してみる。それだけでもう一歩前に進んでいるのだと、知っていただきたい。

企業の“夢”、個人の“夢”、そして叶えている途中の“夢の続き”を募集し、それぞれ自ら発信して行動につなげるためのサポートを、PR TIMES が後述の通り行います。

「April Dream」参加申込みフォーム <https://tayori.com/f/aprildream2022-pressrelease/>
「Made in April Dream」参加申込みフォーム <https://tayori.com/f/made-in-april-dream/>
「April Dream」に関するその他お問合せ <https://tayori.com/f/aprildream-inquiry/>

「April Dream」と企業の参加方法

PR TIMES は 2020 年より、4月1日を、ウソをつくエイプリルフールから、叶えたい夢を語る「April Dream（エイプリルドリーム）」の日にする、新たな発信文化を提唱しています。

これまで、2020年と2021年の2回合計で企業からは1000社、個人からは994名の April Dream が発信されてきました。3年目の2022年も、法人個人を問わず夢の発信を広く呼び掛けてまいります。

私たちは、当プロジェクトに賛同いただける企業・団体・個人の方々と共に、新たな発信文化をムーブメントにしていきたいと考えています。今年の4月1日。April Fool を April Dream にしませんか？



2020年 始動時のメインビジュアル

April Dream プレスリリース参加方法

募集期間：2022年2月22日(火)～4月1日(金)

募集対象：「PR TIMES」を利用して2022年4月1日(金) (0:00～23:59) に叶えたい夢をプレスリリース発信したい企業・団体

参加費用：無料／April Dream 対象プレスリリースは「PR TIMES」1配信無料となります。

エントリー方法：以下の URL より参加申し込みください。

「April Dream」参加申込みフォーム <https://tayori.com/f/aprildream2022-pressrelease/>

エントリーいただいた方へは、夢のプレスリリースの作成方法や配信にあたっての注意事項をお伝えします。また、夢をどう書くといいかお伝えするセミナーをご案内します。検討段階でもぜひエントリーください。

April Dream セミナーについて

プログラム：夢を考えるヒントやその夢をどのようにプレスリリースに落とし込むかお伝えします。

1. April Dream とは
2. 夢を考える
3. 夢のプレスリリースを発信する
4. プレスリリース発信にあたってお伝えしたいこと

所要時間：各回 30 分（質疑応答を含め最大 45 分）

開催日程：2月28日(月) 14:00～14:45 https://zoom.us/webinar/register/WN_HeCzPbhVRI6O54gaxwg35A

3月1日(火) 11:00～11:45 https://zoom.us/webinar/register/WN_8GzzMTpLRwyMKzqhX3IbYQ

他日程についてはこちらから <https://tayori.com/q/aprildream/detail/284217/>

新企画「Made in April Dream」の募集開始

これまでに発した夢の、前進したことや実現できたことなど、夢の発信から始まったストーリーを「**Made in April Dream (メイドインエイプリルドリーム)**」と呼び、今回から募集開始いたします。夢を語ることから、行動が生まれ、実現に向かい前進する。その事例ストーリーを発信することで、その夢を応援するサポーターや協力者を増やすことにつながります。また、夢の発信から実際に事が動くのだと信じられる人を周囲に増やし、April Dream 参加意義を確かなものにしていただくと考えています。



応募者に参加特典をご用意しています。まず2022年2月22日(火)～2月27日(日)までに緊急募集する「Made in April Dream」から数件を、**Forbes JAPAN 編集部が取材**して3月下旬に『Forbes JAPAN』ニュースサイト内の連載ページにタイアップ記事の掲載を予定しています(2月28日(月)～3月4日(金)中の取材が条件)。掲載する「Made in April Dream」は、Forbes JAPAN 編集部と April Dream 運営事務局での選考のもと、決定いたします。

それ以降も2022年4月1日(金)まで「Made in April Dream」募集を続け、頂いたストーリーは **April Dream 特設サイトへ掲載**(※1)する他、そのストーリー発信に活用いただくため「**PR TIMES STORY**」1配信を無料提供いたします(※2)。また、魅力的な記事作成を学べる「**PR TIMES STORY オンライン勉強会**」へご招待いたします。

※1…公序良俗に反するもの以外は基本的に全てのストーリーを April Dream 特設サイトへ掲載します。

※2…過去に April Dream に参加しており、今回 Made in April Dream に参加申込みいただいた場合に無料となります。

Made in April Dream 参加方法

募集期間：2022年2月22日(火)～4月1日(金)

(※2月27日(日)までの応募は Forbes JAPAN 編集部が取材して3月下旬に記事掲載する可能性があります。)

募集対象：2020年4月1日, 2021年4月1日に発信した April Dream の叶えている“夢の続き”のストーリー

参加費用：無料／Made in April Dream 対象ストーリーは「PR TIMES STORY」1配信無料となります。

エントリー方法：以下の URL より参加申し込みください。

「Made in April Dream」参加申込みフォーム <https://tayori.com/f/made-in-april-dream/>

Forbes JAPAN が Dream パートナーに(URL: <https://forbesjapan.com/>)

今年はグローバルビジネス誌『Forbes JAPAN』にメディアパートナーとして April Dream に参画していただきます。応募いただいた中から数件、叶えている途中の“夢の続き”の実例ストーリーを、Forbes JAPAN 編集部取材いただき、『Forbes JAPAN』ニュースサイト内、連動ページにタイアップ記事として掲載を予定しています。

特集ページを用意してより多くの方に意義が伝わるよう努め、April Dream の夢の発信に対しポジティブな反響が広がる素地を『Forbes JAPAN』と一緒に築いてまいります。

Forbes JAPAN

ストーリー勉強会**April Dream × PR TIMES STORY オンライン勉強会 ～夢のその後を語ろう～**

開催日時：3月1日(火)17:00～18:00、3月8日(火)15:00～16:00、

3月14日(月)16:00～17:00、3月22日(火)15:00～16:00 ※すべて同内容

対象者：「Made in April Dream」参加申込み者

フォームより申し込みいただいた方に参加用の URL をご案内します。

実例紹介：Made in April Dream - 叶えている“夢の続き”のストーリー -

「夢を言ってみる」から始まるストーリーがあります。それは実現前の途中であっても、その夢を応援するサポーターや協力者を惹きつける“夢の続き”です。April Dream を発信したことで、その後夢の実現に向けて歩みを進めている実例ストーリーの中から、内容を要約して4例をご紹介します。(3月10日以降に April Dream 特設サイトでも掲載いたします。)

株式会社ラコル | ドライブインシアターを 47 都道府県で実施します。(2020 年 4 月 1 日の April Dream)

2020 年 4 月に世の中を明るくしたいと考え夢を発信。発信した直後から実現できる場所に関する連絡など、800 件以上の問い合わせが集まる。

周りの期待に答えようと約 2 か月でテーマパークの駐車場でドライブインシアターの実施まで駆け進む。夢に共感し一緒に盛り上げようと集った花火師とのコラボにも至る。

**Funpicking | 浜名湖カリフォルニア計画！世界中が注目する Hamanako～浜名湖～！！ (2021 年 4 月 1 日の April Dream)**

地元の浜名湖をカリフォルニアのような観光も産業も豊かな都市にしたいが言葉にする機会がなかった。そこで April Dream をきっかけに夢として発信。

夢の発信が旗振り役のように、地元を盛り上げたいという地域の人々が続々と集まり、サーフィンイベントの支援や地域のさらなる PR 活動を実現。

**株式会社リロバケーションズ | “もったいない”が無い【ALL エコなりゾートホテル】をオープン！ (2021 年 4 月 1 日の April Dream)**

リゾートホテルや旅館を、山を切り開いて新築するのではなく元の建物や素材を再利用して開業している企業が存在するということを知っていただきたいと、夢の発信を決断。

社内報を通した全国の社員への April Dream の共有は、全社員の目指すべき方向性が揃う要因のひとつとなり、現在全社的な SDGs に向けた施策を実施中。

**有限会社観光荘 | うなぎを宇宙へ！やなのうなぎ観光荘のオリジナルブランドうなぎを宇宙食にします！ (2021 年 4 月 1 日の April Dream)**

少しずつ宇宙食の開発に向けて動き始めていたが、外部に対して発信はしてこなかった。April Dream を知り、この機会に夢として発信を決意。

夢の発信をきっかけにその後のストーリーを継続的に外部に発信することで毎月継続的にメディアから取材が舞い込む。遂に一次審査の突破に至る。



「April Dream」特設サイトと個人の参加方法

夢を語るのって、勇気が要ります。PR TIMES は 4 月 1 日を夢を発信しやすい、語る勇気を出しやすい日にしていきたい。だけど、やっぱり緊張すると思います。それは夢が、あなたにとって大切なものだからです。だから、**夢を語る人は、その勇気を讃えられるヒーローであってほしい。**

そう考え、2022 年バージョンの April Dream 特設サイトには、ご本人の画像を Dream ヒーローに加工して SNS 投稿に利用できるよう、画像ジェネレーターを準備しています。夢をお持ちの方が 4 月 1 日に #AprilDream で夢を SNS などで発信いただけるよう、April Dream 特設サイトを 3 月 10 日以降に公開予定です。

April Dream

April Dream 特設サイト（3 月 10 日以降にアップデート予定 ※それ以前は 2021 年バージョンが表示されます。）：

<https://prtimes.jp/aprildream/>

また、特設サイトでは 4 月 1 日当日に向けて、April Dream に関するお知らせや夢の発信に関するコンテンツをお届けします。April Dream 公式 Twitter アカウントでも同様にご案内を予定しておりますので、チェックしてみてください。

April Dream 公式 Twitter アカウント：<https://twitter.com/AprilDream0401>

Dream 募集開始に寄せるコメント

April Dream 企画担当のコメント

夢は発信者自身にとって応援者や協力者が生み出すエネルギーを持つのみならず、受け取った人が前を向くポジティブなパワーも持っています。2020 年 April Dream のプロジェクト担当を務めた私自身、参加者により発信される夢に力をもらいました。

3 年目となる今年、日本を世界一夢があふれる一日にしようという企画を進めています。それこそ夢のような話かもしれない。けれど、この夢のような話にも賛同してくれる方々が現れて、本当に夢であふれさせる一日を生み出すことができると信じています。

4 月 1 日は、April Dream です。夢を言っているいい日です。皆さんの大切な夢が多くの人に届き、人々の心を揺さぶる一日になるよう今年の April Dream を進めてまいります。

（株式会社 PR TIMES 経営管理本部 PR・IR チーム 杉本秋）



Made in April Dream 企画担当のコメント

事前に過去 April Dream にて夢を発信いただいた方にお話をお伺いしました。多くの方より「夢を発信したからこそ環境に変化が生まれた、発信してみてもよかった」という言葉をお聞きできました。私自身、本企画を進める前は、夢の発信に対してどれほど価値があるのか半信半疑でした。しかし企画を進めていくにつれ、発信がまず一つ目の行動となり、応援や協力を得て、実現に向けてさらに二歩目、三歩目と歩みを進められている方を前に、夢の発信の威力を感じました。さらにお話をお伺いすると、自分たちの夢を発信したいという想いだけでなく、社会に対して少しでも明るい、ポジティブな情報を発信したいというより広い視点を持たれ、「夢で世界を変える」という April Dream プロジェクトの夢への繋がりにも気づくことができました。

今後のさらなる夢の発信に向けて、これまで夢を発信された方のその後のストーリーを、私たちだけでなく、より多くの方に知っていただきたいという想いで、本企画を進めています。

「Made in April Dream」では、夢の発信に迷っていたり、発信の意味を感じにくいと思われる方が、少しでも夢の発信に前向きになり、また夢を見た方が応援したくなり、誰かの夢が新たな夢を生む循環を築きあげていきます。

（株式会社 PR TIMES Jooto 事業部 柏木 拓斗）



ご参考情報：April Dream に関する発表より

2022年2月3日：【夢を語るあなたが駅貼りポスターに】
Dream ステーション募集告知

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001154.000000112.html>

2021年4月1日：2021年 April Dream 当日発表（2年目）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001078.000000112.html>

2020年4月1日：2020年 April Dream 当日発表（初年度）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000980.000000112.html>



Dream ステーション掲出ポスターイメージ
※実際のポスターデザインとは異なります。

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2021年11月時点で6万2000社超、国内上場企業49%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万2000人超、サイトアクセス数は月間5800万PVを突破、配信プレスリリース件数は累計100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア200媒体以上にコンテンツを掲載しています。



クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPRパートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やクラウド情報整理ツール「Tayori」の運営も行っています。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名： 株式会社 PR TIMES（東証一部 証券コード：3922）

所在地： 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立： 2005年12月

代表取締役： 山口 拓己

事業内容： - プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営

- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営

- 広報・PRの効果測定サービス「Webクリッピング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営

- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施

- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営

- クラウド情報整理ツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営

- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営

- 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営

- Web ニュースメディア運営、等

URL： <https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES